

やらうとする友情にも打たれるではないか。繰り返へして云ふ。昭和六年度の直轄國道改良工事は、失業救済として

は大成功であつたと思ふ。勿論土木工事としての道路工事もしてもこの年は實際劃期的なものであつたと思ふ。

道路工事雜感

楠 宗 道

一 路 線 形

道路法に謂ふ所の甲乙二地點を連結する路線は、一線しか認められない様であるが、技術上から是れが建設改良に際して、選定せらる可き候補路線は幾條もあるのが常態である。甲乙二地點が短距離の場合であつても、其の間に山や川があつたり、部落や鐵道がある場合には、建設費は無論の事交通の安全、輸送能力、利用價值乃至は道路の維持管理等の諸點から考へて、是れが唯一無二の線であると斷定される迄には、可なりの測量調査によるの研究がいる筈である。然るに多くの場合には、割合に是れが簡単に片付けられて居る様である。例せば

測量技手の單なる考に一任されて餘り考慮を拂はない事 政黨的の動きにより彼等の地盤關係から決定せられる事 地方民の請願による事

等は其の重なるものである。大にしては、路線か山脈の何れの峠を通過するか、川の左右岸何れにするか、部落に道よりをするか、一直線に行くか、小にしては、中心線を一米左するか或は右するかによつて、道路本來のを使命を全ふするか否か乃至建設費、維持費に重大なる影響を齎らすものである。而して是等によつて得る利益は、比較線の測量調査費の小額なるものに對して、無論多大なるものがある事は明了である。局に當るものは豫め是れが測量設計

に時と費用とを費し、衆智を集めて情實に偏する事なく、虚心坦壤に斷案を下し、以つて悔を百年後に遺す事なきを期したいのであるが、多くの場合は制限せられて充分の検討をなし得ないのは遺憾である。

二 買土と捨土

山岳地方の如く地盤に起伏ある地方に道路を築造する場合に、其の工費の大部分を占めるのは土量の移動である。而して是れが主たる原因は、中心線の位置と縦斷勾配で、後者は更らに輸送能力に、至大の關係を有するものであるから、是等の兩者も特に研究の必要がある。而して是等の選定の如何によつては、一方には買土が多くなり、他方には捨土が多くなつて、工費の増額を來たす場合がある。特に山間地方にて數年間の繼續工事として施工する場合に、一年度の工費を技術的に決定せず、工費本位に決定せらるゝ場合には、彼此の流用が出来ないで、上述の冗費を更らに大にする事がある。豫算の局に當るものは、一ヶ年に施工する道路長を金額から制限しなくて技術的に決定し、以

て一文でも無駄をはぶきたいものである。尙ほ其の上に一ヶ年丈の改築丈けでも、舊道に取り付けるとか又は他の連絡道路に接續せしめて、一日でも早く道路を有効に役立たせる様に計畫したいものである。

三 排水溝

本誌昨年十月號に池本内務技師が「道路に關すること」と題して、側溝のない道路があちこちにあると不思議に思つて居られた。誠に筆者も同感で、斯様な道路には砂利を散布する費用を節減して、早く側溝が造りたいのであるが、是れ以上に更らに不思議な事がある。夫れは折角造つた側溝に蓋をして、少しの隙き間若しくは孔も造らないで、それこそ「水も洩らさぬ」様に石蓋を架け渡された側溝が隨所にある事である。是れでは路面の排水が出來ぬのは申すに及ばず、一朝其の蓋を取つて見ると泥土が一杯に詰つて居たり、ドブになつて蚊の發生所、臭氣發散場になつて居る。是れなら初めから費用をつかつて、造らぬ方が餘程ましである。是れなどは設計者にも無論罪があ

るが、側溝の掃除をせぬ又はせしめないのにも責任がある。更らに設計者の手ぬかりとして認めねばならぬ事は、側溝を月並に定規式に造つて、水の行方を考慮しない事である。つまり水を何處に流すか、落ち行く先も考へてやらないで側溝を造つても、それは決して排水溝ではなくてドブである。吾々は路面の構造を考ふる前に、先づ排水の方法を講ぜねばならぬ。營養物を攝取しても、不養生では仕方がないではないか。

四 横断勾配

近年築造の道路では曲線部の外側を高めて片勾配とし、高速度車輛の交通に安全ならしめる設計となつて居るが、従來の道路では屈曲部と雖兩勾配となつて居る爲めに、自動車が斯くの如き屈曲部を右に曲がるには自然右側を通る事となり、非常に危険である。兩勾配の場合に左側通行を嚴守した自動車は速度を緩めなかつた爲めに、右方に曲がる場合道路外に車がほり出された例は幾らもある。故に在來道路は街路は別として、漸次屈曲部を片勾配に変更せぬ

ばならぬのに、往々にして偶々屈曲部の外側に修理に出會はしても、無意識的に依然として兩勾配に設計するは遺憾である。是れは屈曲部を擴大したり、防險柵を設置すると共に必要な事である。

五 溝 橋

徑間の短かい溝橋程度の橋梁に於て、橋臺の不釣合に高いのを往々見受ける事があるが、一概にも云へぬが斯様な場合は、ラーメンにした方が工費が非常に低廉である。桁橋にした方が計算は甚だ簡單であるが、一見して如何にも不經濟の感を起させる。其他二、三徑間の橋梁に於ても簡單に桁橋のみとしないで、色々の型式を考へて見ると桁橋よりも安價で且つ美觀を保つ橋梁を設計する事が出来る。例へば二徑間程度の橋梁ならば、河の流身に橋脚を建てるのを止め、且脚臺も單に土留めの程度として其の直前に橋脚を建て足駄式の橋にすると至極經濟な場合がある。但しこゝに挿話的な注意は土留を橋臺と心得て、それにカンテレーバーの端をのせた例が現場の監督者に有つた、圖面を誤

りと見て氣をきかせたつもりであつた。

六 法面の保護

以前は盛土の法面には筋芝を、切取面には張芝を設計する事は普通であつたが、近來は工費節約の爲めか後者は殆ど省略される様である。其の爲に降雨に際會すると法面が崩壊して、思はぬ損害を蒙る事がある。夫れのみでは無く

通行者に殺風景の感を起させる。まして觀光道路でもあらゆるものなら、是れが爲に觀光の目的の一半を減殺せしめる。又法面の排水乃至は法りの上部地盤の排水も、路面排水と共に重要な事で、是れが往々にして等閑視され、夫れが爲に降雨等の場合に上部の地盤が道路に崩落して、交通を遮斷し不祥事を惹起した例がある。道路に水は鬼門である。

異動した府縣土木部課長評

路 政 僧

政變あるごとに事務官を異動せしむべきではないとは、常に在野黨と爲つた方面から唱導されてゐるが、矢張り自分が天下を取つて見ると、氣に喰はぬ者やら癢に觸る者やをさながら大根でも切るやうにバサ／＼と誦つて威力やらを示さうとする、之が從來から政民兩黨の内閣に於て繰返して來た猿の尻笑的行爲だ、尤も人間には能無能があるから

政變を機會に無能者を誦首することには何人も異論はない、併し整理の跡を展望して見ると定評ある無能者が起用されて有爲の人間が誦られてゐることもある、此様なことを繰返してゐては官界に人材を集めることが出来なく爲つて憂ふべき結果に陥る、何とかして此弊を救済しやうと言ふので、官吏の身分保證に關する法律を造ることまで考えた